

新年を迎えて。各事業所から新年のご挨拶。

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第124号

発行2016.1.17  
年4回発行

社会福祉法人そよかぜ  
羽村市栄町3-3-1  
042-578-0855  
fax.042-578-0466

# そよかぜだより

# 新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。  
昨年は本紙そよかぜだよりをご愛読くださいまして誠にありがとうございました。  
さて、新年にあたり当法人各事業所の代表より  
新年のごあいさつをお届けいたします。

新年のごあいさつをお届けいたします。  
昨年の事業所の様子や今年の抱負など、  
盛りだくさんではございますが、ご一読いただければ幸いです。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。  
昨年は本紙そよかぜだよりをご愛読くださいまして誠にありがとうございました。

新年のごあいさつをお届けいたします。

昨年の事業所の様子や今年の抱負など、  
盛りだくさんではございますが、ご一読いただければ幸いです。



**堀内政樹**

社会福祉法人そよかぜ 施設長

新年、明けましておめでとうございます。昨年中は、当法人の障害者福祉事業に暖かいご支援、ご協力を賜り誠に有難うございました。本年も、よろしくお願い申し上げます。

さて、皆様もご存じのように、近年、社会福祉法人が多額の内部留保をため込んでいるとの批判や、一部の法人経営者の不適切な経営姿勢等が報道されるなど、社会福祉法人への批判が表面化しています。社会福祉法人制度は、1951(昭和26年)年に、社会福祉事業法(現・社会福祉法)の成立とともに誕生し、平成26年度末の時点で19,823法人を数えるまでになりました。上記のような事例は、その中のごく一部であり、私たちそよかぜも含めて大多数の法人は厳しい経営環境の中、地域の様々な福祉ニーズに貢献すべく懸命の努力を続けています。それぞれに、反省すべき点や改善すべき課題はあるかと思いますが、一部のマイナスイメージがあたかも全体であるような扱いは残念でなりません。国は、こうした問題や今後の社会福祉法人の在り方検討の結果等を踏まえ、社会福祉法人制度の改革を進めようとしています。このような流れの中で新年を迎えるにあたり、今一度、そよかぜの経営理念や基本方針を心に刻み、地域の皆様に喜んでいただけるような障害者福祉サービスの提供に全力を尽くす所存です。本年も、昨年同様ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 根岸 徹

福祉作業所ひばり園(就労移行支援)主任

**新** 年あけましておめでとうございます。就労移行支援では2年間の期限のなかで就職を目指して日々活動を行っています。就職者の多く出た年の翌年は新規利用者の受け入れが多くなる年です。昨年3月末では1名になりましたが、4月以降に新規利用者の受け入れが相次ぎ、現在まで満定員の6名となりました。9月から新規作業として、箱組み立て作業を行っています。4つの部材を5つの工程に分けて流れ作業で組み立てていきます。利用者のみなさんの習得が早く、おかげさまで11月のピークを乗り切ることができました。

昨年は2名の利用者が就職活動を行いました。履歴書を書き、通勤練習、面接練習を行い、準備を整えた上で面接と実習に臨みました。惜しくも2名とも残念な結果になってしまいましたが、精一杯頑張ったことは無駄になりません。新たな課題を見つけ、出来ていたことを再確認して次のチャンスに備えます。

昨年は利用者を受け入れる年でしたので、本年は就職する年になります。さまざまな活動の中からその方の可能性を見極め、一人一人に合った職場へ丁寧につなげていきたいと思います。本年も小さな自信を積み上げ、目標へ向けて一歩ずつ近づけていく支援を心がけていきます。本年も皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

## 神作由希子

福祉作業所ひばり園(就労継続支援B型)主任

**昨** 年も、福祉作業所ひばり園の事業に際しまして、皆様のご理解、ご協力をたくさん賜りました。リサイクルショップくれよんにおける提供、お買上、資源回収作業へのご協力、市内随所で出会った時の温かいまなざしと心配なことについての声など、どれもひばり園にとって大切なご協力です。本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

新しい年を迎えることがあります。新人の頃に当法人理事であった故西岡氏から教えられた話です。神奈川県川崎市に、全社員のうち知的障害のあ



る方が7割在籍し働いている日本理化学工業という会社があります。その会長である大山泰弘さんがあるお坊さんに言われ、それを広めたものです。「人間の究極の幸せは、人に愛されること、人に褒められること、人の役に立つこと、人から必要とされることの4つ」働く事によって愛以外の3つは得られるのだ。大山さんは「愛でも、仕事から得られるのだと思う」と付け加えました。

障害の有無に関わらず、この4つを実感していると満たされた気持ちになり、周りの人たちに優しくなっていきます。〈働く場〉として心新たにしっかりと刻み、力を尽くしていきたいと強く思う新年です。

## 河村 茂

福祉作業所スマイル工房 所長

**昨** 年は作業やレク活動共に事故もなく無事1年を締めくくる事ができました。パン作業では、新商品や季節限定商品を販売することで売上アップに結び



きました。クッキー作業では、抜型の種類を増やしたりパッケージに工夫を凝らすことで、お客様の購買意欲に働きかける取り組みをしました。一方、軽作業では、一昨年終わりごろから始めたイヤホンリフレッシュ作業が軌道に乗り、安定した量を納品できるようになりました。また、例年通り福祉文化祭り、はむら夏まつり、子どもフェスティバルなどのイベントにも出店し、地域の皆様との繋がりや利用者の方々の成長を感じることができました。

レク活動では、スポーツ・歌などの定例活動に加えて、宿泊訓練や近隣事業所との交流会、芋ほり・クリスマス会他バラエティーに富んだ企画を実施し、その内容を利用者と職員が一緒に考えアイデアを出し合いながら進めていくことで、今までより多くの利用者が楽しまれたように思います。

今年も作業やレク活動を一層充実させて魅力ある施設作りを目指します。そして、長年の課題となっている建物老朽化に伴う施設移転については、今年も引き続き関係機関・部署と連携しながら着実に進めたいと思います。



## 江原靖典

羽村市障害者就労支援センター エール センター長

**よ** き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて、昨年の障害者の雇用状況調査では、企業で働く障害者の数は増加を続け過去最高を更新し、企業に義務づけられた障害者の割合(法定雇用率)を達成した企業数も伸びています。特に精神障害者の就職件数の伸びは目をみはるものがあります。

障害者雇用が伸びている理由として、法定雇用率2%への対応、平成30年からの精神障害者の雇用義

務化(法定雇用率の算定対象に精神障害者を追加)、また障害者雇用納付金制度の対象企業を101人以上規模に拡大等が考えられます。さらに就労継続支援A型事業所の増加も雇用者数をおしあげていると見られています。こうした雇用拡大の状況において大切に思うことは、就労支援は、その人の生活や将来といった、個人の人生に関わる重要な役割をなっていることを、初心に立ち返り、自覚することです。例えば、就職のサポートでは、本人の希望はもとより、障害と職務、職場のミスマッチがないようにすることは、モチベーションの維持・アップ、仕事の成果、成長と満足、そして本人と企業双方の幸せにつながります。

エールは今年で8年目を迎えます。障害者の理解と雇用そしてエールも末広がりで、皆様には事故や病気のない、いい年ありますように。

## 河村 茂

指定特定相談支援事業所ゆい 管理者

**平** 成27年1月1日に開設してちょうど1年が過ぎました。開設以来、何もかも初めてで、職員も従来業務と兼務しているため、個別面談や関係機関との調整、サービス等利用計画等書類の作成などの業務に追われる日々が続きました。しかし、アセスメントやモニタリングを重ねるうちに、今まで見えていなかった個別の課題が浮き彫りにされ、あらためて、相談支援の大切さと奥深さを実感しています。同時に、時間をかけて利用者やご家族と向き合う事で、利用者やご家族の意向や希望は何であるのか、幸せになるためにはどのような支援が必要なのかを考えさせられる場面が多かったです。

また、これまでの業務を通じ、将来に向けて利用者の権利を守り続ける事の重要性を再認識した今、今年の2月に、成年後見に関するゆい主催の学習会を開催することになり、現在、その準備を進めています。今後も必要に応じてこのような学習会ができればいいと思います。

今年も利用者やご家族の皆様ときちんと向き合い、課題解決に向けて適切なサービスが提供されるよう誠意を持って取り組みたいと思います。

# 平成28年の新春を迎えて

**野崎功市**

社会福祉法人そよかぜ 理事長

新年あけましておめでとうございます。ご家族お揃いで輝かしい新春を迎えたことと思いますが、ことし一年のご多幸を心からお祈り申し上げる次第です。なお、昨年も国内外にわたり重大な事件や自然災害が数多く発生してしまいました。近年は予測を超える事件や災害が多く、どう対処すればよいのか、戸惑いの世情を強く感じます。新しい年が何とか無事平穏であることを切に願いたいものです。

さて、「そよかぜ」の運営につきましては、業務内容、経営状況等順調に推移しておりますが、これも一重に羽村市当局をはじめ、ご協力いただいております企業・市民・関係皆様のお陰であり、心から感謝とお礼を申し上げる次第です。

ここで、「そよかぜ」の課題と業務の近況について少し触れておきたいと思います。懸案であります宿泊訓練事業「つくしの家」及びグループホーム事業「ほほえみ館」につきましては、昨年3月をもつて終了させました。長い間、この事業に携われた多くの皆様に心から感謝を上げます。そして「指定特定相談支援事業所ゆい」を昨年1月に新たに立ち上げることができました。更に重要課題となつております「スマイル工房」の新施設につきましては、羽村市に市有地の貸与をお願いしておりますが、現在、明るい方向で検討が進められていると聞き及んでおります。市当局のお骨折りと共に議会のご支援に感謝申し上げます。

いずれにいたしましても、社会福祉法人は公益的な団体として健全な運営を使命としなければならないのは当然であります。「そよかぜ」が、障害者の地域福祉推進に向け、今年も役職員一同努めて参りたいと思いますので、関係皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



福祉作業所ひばり園で、  
新年のあいさつをする  
野崎功市理事長。



【連載】

# そよかぜのご近所さん

ここ羽村市近隣地域には、たくさんの福祉施設があります。それぞれの施設では、様々な特色を活かした取り組みを行っています。意外と知らないことも多い他の施設の様子、見せてもらいました。

## 〈第4回〉 パン工房 モンパルふっさ (福生市福生)

パン工房モンパルふっさは、JR八高線東福生駅と国道16号線との間にある、小さいけどとっても美味しいパン屋です。知的障害のある利用者さんが常時約7名通ってきて作業に取り組んでいる施設(就労継続支援B型)もあります。材料を計量し、手際よく手でこね、きれいに成形する。「みんな一通りできるようになるまで時間はかかりますが、ちゃんとできるようになります」と、スタッフの方がよく通る声でおしえてくれました。先回りして段取りよく作業を進めるスタッフ、活き活きとした表情で、てきぱきと迷いなく手を動かす利用者さん、そのリズム感に驚きました。きっとパン屋では当たり前のことなのかも知れないけど、驚きました。そのリズム感から、「これが私の仕事です」という意識と責任感を感じました。私は、ここの食パンが大好きです!

### 社会福祉法人あすはの会 パン工房 モンパルふっさ

東京都福生市福生2049-5

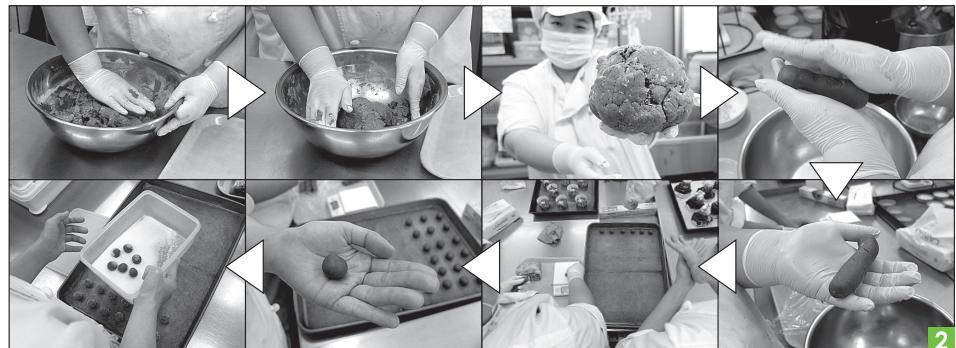
☎/Fax.042-513-0393

営業時間 8:30~17:00

月~金曜日(祝日・年末年始を除く)



1



2



3



5

1 整理整頓された厨房で、みんな黙々と、手を休める間もなく作業が進んでいます。休憩時間になると、みんなとてもぎやかに。2 クッキーの成形作業。計量された材料を手でこねて、小分けしやすいように細長くします。一つ一つ決められたグラムにちぎって、きれいに丸くします。砂糖をまぶしてオーブンへ。一連の作業が手際よくスムーズに進みます。3 店内には常時40~50種類のパンと焼き菓子が並んでいます。つい買いつぎてしまう魅力的なラインナップ。4 カップケーキの生地を決められたグラムで型に落としています。その真剣な手つきと表情はまさに職人。5 お店の外観。国道16号線からも東福生駅からもすぐです。

## 次代を考えるとき

中国では、留守児童が問題となっています。貧しい農村で稼ぐことも出来ず、大人は日々の生活を支えるために厳しい労働下にもかかわらず大都市へ出稼ぎ労働に行かざるを得ません。生きるために田舎に子供を置いていくことは苦渋の決断でもあります。残された子供は、親のいない生活に耐えますが、この留守児童の多くが犯罪に巻き込まれる

ことが問題となっています。祖父母や親戚に面倒を見てもらつても実の親には代われない部分も多々あるのではないかでしょうか。子供が育っていく環境で親との関わりは大事なものもあり、子供だけでなく親にとっても互いにかけがえの無い存在でもあります。

わが国でも子育て支援で保育士の不足などといった様々な課題があります。

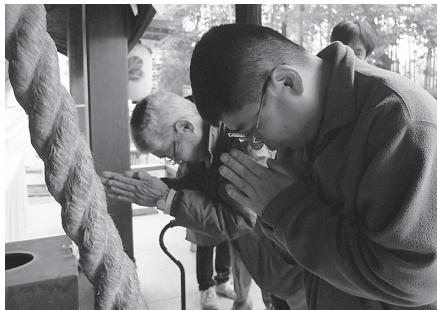
## コラム「福祉の時をつかむ」

子供が育つ環境ではマンパワーも大切ですが、一方で親にしか出来ないことも沢山あると思います。

新年を迎えたが、今年は国政選挙が控えており、18歳選挙権の皮切りであります。超高齢社会や子育て、障害福祉など日本の将来を見据えた政治となることを願うばかりです。

そよかぜホームページ <http://soyokaze-hamura.com>

## 各事業所からのお知らせ



### 福祉作業所ひばり園

仕事始めの6日、ひばり園から歩いて20分程の阿蘇神社へ、みんなで初詣に行ってきました。ひばり園の冬休みは一年の中でもいちばん長い休暇です。そのため体が重たくなって歩くのが試練の人、みんなと一緒にたくさん体が動かせると意気揚々としている人、気持ちも新たに輝いている人。様々な表情と思いを胸にいざ参拝。そして楽しみのおみくじを引いて…皆様にとってもどうかいい一年になりますように!

### リサイクルショップくれよん

あけましておめでとうございます。昨年も

ご来店、ご提供ありがとうございました。年明けから始まりました冬物衣類のセールが好評継続中です。食器類のセールも予定しております。その他、一足早く春物衣類の販売も始まりました。今年もみなさまのご来店をお待ちしております。

### 福祉作業所スマイル工房

昨年のクリスマス会は、近くの町内会館でパーティーを行い、その後、立川昭和記念公園に出かけてイルミネーションを見学しました。企画や内容は実行委員となった利用者さんが、他利用者の意見を聞きながら少しづつ形にしていき、手づくりを重視した内容となりました。パーティーでは利用者の持ちネタなども披露され会



場は笑いと驚きで盛り上りました。また、初めてのイルミネーション見学では、幻想的な雰囲気を楽しむことができました。新年より、いろいろな型のハートクッキーを販売しております。



### 障害者就労支援センター エール

「エール」は、羽村市より社会福祉法人そよかぜに委託された障害者就労支援事業です。羽村市在住の障害のある方を対象に、就職を希望している方や働いている方等からの相談を受け、支援を行っています。

利用時間：月曜日～金曜日、午前9時～午後5時。今年度の第一土曜日開所は、2/6、3/5です。

※ご相談には予約をお願いします。

## 資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。由来は諸説ありますが、一年の計画は年の初めに立てることが肝心のこと。今年登りたい山のことを思うと、休暇を取るための業務の調整、かかる費用捻出のための家計の調整、安全登山のための行動計画と、そのための体力作りなどなど。目標達成のために計画を立て、そのために努力し行動をすることがこの言葉の真意なのかなと思った年初めです。

## 各事業所の連絡先



### 社会福祉法人そよかぜ事務局

☎ 042-578-0855

### 福祉作業所ひばり園

☎ 042-555-5512

### 福祉作業所スマイル工房

☎ 042-578-2723

### リサイクルショップくれよん

☎ 042-578-2575

### 羽村市障害者就労支援センター エール

☎ 042-570-1233

### 指定特定相談支援事業所ゆい

☎ 042-555-5512